

市民活動サポートセンター いなぎ

ニュースレター

No.36

2011.2.15

発行/NPO法人

市民活動サポートセンターいなぎ

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話 042-378-2112

FAX 042-378-6971

E-mail: info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

●市民と市職員とが 一緒に考える 絶好の機会です

今回は、昨年7月に「マサー・テレサに学ぶ市民活動の原点」というテーマで熱く語ってくれた枝見太郎さんに再登場していただき「新しい公共」について学びます。

「新しい公共」と従来の「公共」とはどう違うのか。「新しい公共」を支えるのはいったい誰なのだろうか。そして、それを育てていく上で障害になることはどんなことなのだろうか。

そういったことについて、市民と市職員とが一緒に考える機会にしたいと思っています。

市民公開講座



新しい公共 について考える

～協働のまちづくりに向けて～

■講師/枝見太郎氏

日本テレビ勤務を経て福祉活動家となり、
現在、財団法人富士福祉事業団理事長

■日時/2月23日(水)

13:30~16:30

■会場/稲城市地域振興プラザ4階

■参加費/無料

■定員(市民)/20人(先着順)

■共催/NPO法人市民活動サポートセンターいなぎ 稲城市



昨年行われた協働▶
に関する講座から

◎申込みは電話、FAX、メールのいずれかで

※ファクス、メールの場合は、住所・氏名・電話番号を記入してください。

◎申込み・問合せ/協働推進課協働推進係 ☎042-378-2112

「あなたの会議が変わる！」 ～やる気と本音を引き出す会議術～

昨年の12月16日と20日の2日間にわたり、ファシリテーター養成講座を行いました。講師は桜井・法貴グローバル研究所代表の桜井高志さんでした。

とても参考になったので、講座に参加した体験を交えながら、ファシリテーターの意味や必要性、ファシリテーターに求められる姿勢と心構えといったことについて、何度かに分けて報告させていただきます。(文責：小林)

●会議で何が問題なの？

私たちは会議やミーティングをふだんから頻繁に行っています。それに加えて最近では、住民参加型のまちづくり会議やシンポジウム、ワークショップなども盛んに行われるようになりました。

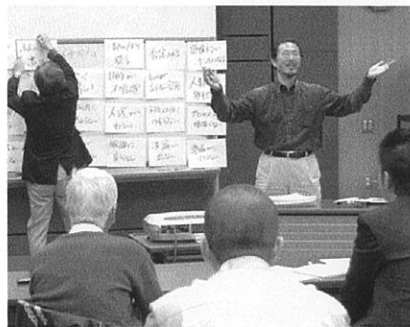
ところがその時の進行が上手くいかないために、議論が噛み合わなかったり、会議が盛り上がり、結果的に十分な成果を納めないで終わるということがよくあります。

そうした時に大事になるのが進行役、ファシリテーターです。

すなわちファシリテーターとは、参加者の間で深い論議がなされるよう、話し合いを交通整理したり、相互理解できるように努め、合意形成に向けて会議を調整する役割を負った人ということです。



桜井さんは、ファシリテーターは産婆さんやオーケストラの指揮者に似ていると言います。



指揮者は自分自身では演奏しませんが、代わりに演奏者のハーモニーを作りやすく支援したり、それぞれの個性を同じ方向に向けさせたりします。

それと同じように、ファシリテーターも会議の中で自分自身の意見を述べるのではなく、参加者が会議の目的に合わせて合意形成できるように支援する立場だからです。



「ファシリテート」を直訳すると、容易にする、促進する、活性化する、円滑にするという意味になるようです。

ですから、会議を活性化し、話し合いが円滑になるような方向にもっていくのがファシリテ

ーターの仕事というわけです。

●雰囲気づくりは アイスブレイキングで

職場など、仲間内の会議であれば問題はありませんが、今回の講座のように参加者が初めて顔を合わせるような場合には、まず、みんなが気軽に話し合える雰囲気づくりがとても大切です。そうした雰囲気づくりもファシリテーターの大事な役割です。

そのため今回の講座では、参加者の緊張をほぐし、顔見知りになるためのアイスブレイキングの手法を学ぶことから始めました。



桜井さんは、「席は自由です」という張り紙を前に掲示しておいて、自由であることのメリットについて隣の席の人と話し合わせ、発表させました。

さて、その結果どんな効果があったのでしょうか？

この続きは次回に報告させていただきます。

金曜サロンスペシャル

【特別編】

新年の夢を語り合いましょう！

市民活動サポートセンターでは、毎月第1金曜日に市民活動に関心がある方々の出会いの場として金曜サロンスペシャルを開いています。

1月はその特別編として14日に「新年の集い」と題し、会費制で軽食、飲み物を用意しての新年会を行いました。

これまで話し手として登場していただいた方をはじめ、ふだんから市民活動団で活動されている方などたくさんの参加があり、楽しい交流と出会いの場になりました。

その時の様子を写真で紹介します。



◀元理事・藤森さんの音頭で乾杯



◀会食しながら楽しく懇談

▶参加者全員が今年の抱負を・・・



二月

「オペラの楽しみ方」

話し手：馬場 紀雄さん

開場前から、若き日の八千草薫さんが演じる「蝶々夫人」のDVDをスクリーンに映してオペラへの入門を演出していただきました。他にも映像などを見ながら「オペラの楽しみ方について」分かりやすく解説していただきました。

オペラは歌劇といい、音楽と劇が融合した総合芸術といわれ、1600年頃ギリシア演劇の復活上演を目指してイタリアで「カメラータ」というグループによって誕生したそうです。

人気があるオペラは歌舞伎に似ており、歌舞伎18番というようにオペラ18番を抑えておくといい。また、オペラはストーリーよりも音楽を楽しんで聴けばいいということでした。

話の途中で馴染みの曲が流れ、参加者がざわつくシーンが何回もありました。椿姫の乾杯の歌や、フィギュアスケートの荒川静香さんが金メダルをとった時のトゥーランドットも聴き慣れている曲です。

オペラはCDやDVDで鑑賞ができます。事前学習をしておくとおペラを聴く時に全体の流れや雰囲気分かるとのことでした。ですから私はまず、オペラの放送をテレビで観て、次に歌劇場へ行って華やかな世界を堪能してみたいと思いました。

(稲垣)



◀新しく登録団体になった花俱樂部のメンバーが、会場に素敵な花を活けてくれました。

●市民活動支援基金チャリティコンサート●



さる1月22日に城山文化センターで行ったチャリティコンサートは、ほぼ満席の状態で、客席も一体となったとても盛り上がったライブとなりました。

出演したアップルビーツからも当日1万円の寄付があり、それも合わせて約8万円を基金に積み立てることができました。ご協力いただきありがとうございました。

おかげさまで
とても盛り上がりました

午後7～9時

金曜サロンスペシャル

■3月4日(金)

- ・話し手：名嘉真 麻希さん
(東京藝術大学絵画科油絵専攻)
- ・テーマ：「絵描きが見た
外国の暮らし
と国際交流」

名嘉真さんは2008年に青年海外協力隊に参加し、中国で美術を教えた経験を持ち、国際交流事業にも携わっています。

今回はスペイン、メキシコ、中国での生活の様子を写真やイラストなどで見ていただきながら、海外でのボランティア活動や日本でできる国際交流の一部を紹介していただきます。

編集後記

二ニュースレターの発行は現在5人で行っています。そのうちの2人の編集委員が、この号限りで辞める予定になっています。

お1人は当初からリーダーとして頑張ってきた方で、もうお1人も2年間携わってくれたベテランで、

かなりの痛手です。市民活動はボランティアが支えていますから、それぞれの事情で続けていけなくなることはよくあることです。ですから素直に受け入れなければと思いつつも、辞めていくのはやっぱり寂しいです。

いずれにしても長い間お疲れさんでした。(小林)

NPO法人
市民活動サポートセンターいなぎ

理事会・総会

ほうこく

12月20日……理事会

◎議事

- ①平成23年度事業計画及び運営体制について
- ②指定管理者制度への対応について
- ③新規利用登録団体の承認について(保留1)

◎報告事項

・各プロジェクトからの報告

1月17日……理事会

◎議事

- ①平成23年度事業計画の決定について
- ②理事・監事の任期満了について
- ③新規利用登録団体の承認について(保留1)

◎報告事項

・各プロジェクトからの報告

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています・・・年会費3,000円